

## 2024年度事業報告書(2024年4月1日～2025年3月31日)

2024年度は、国内セミナーや海外現地セミナーについて前年度に引き続き対面にて実施した。  
保険フォーラムは6回開催することが出来た。

### 1. 事業報告

#### (1) 研修事業

##### ① 海外現地セミナー

今年度の海外現地セミナーは、2月にインドネシア、3月に韓国で開催した。

なお、予定していたタイでのセミナーは先方都合で未開催となった。

開催国・地域(都市)とテーマ	開催日	共催団体	参加人数
インドネシア(ジャカルタ) 「生命保険の将来 ～ デジタイゼーションと オペレーショナルエクセレンス」	2/13	インドネシア生命 保険協会	102名
韓国(ソウル) 「超高齢化時代における生命保険業界の戦略」	3/12	韓国生命保険協会	70名

##### ② 国内セミナー

国内(東京)セミナーは、春・秋ともに、英語による対面セミナーを開催した。

セミナー名	テーマ	開催期間	参加者数
OLIS 2024 Spring	生命保険マーケティング	5/23～5/28	31名
OLIS 2024 Autumn	生命保険会社におけるリスクマネジメント	10/24～10/29	38名

##### ③ 渡航費支援

今年度の国内セミナー参加者への「セミナー等参加渡航費の支援制度」による渡航費支援は、2回合計  
で18名に248万円を支援した。

#### (2) 教育振興事業

##### ① 生命保険寄附講座

慶應義塾大学理工学部の「生命保険概論」は、10月より15年目(3年講座期間の第5ターム3年目)を  
開講した。

学期「講座名」	開講期間	場所	受講者数
春学期「生命保険数学特論」	9/2～9/6	慶應義塾大学矢上キャンパス	15名
秋学期「生命保険概論」	10/3～1/16	慶應義塾大学日吉/矢上キャンパス	115名

2014年度より中央大学理工学部・大学院理工学部研究科において「OLIS-プルデンシャル生命・ジブラルタ生命保険寄附講座」を開設し、2024年度は11年目を開始した。当講座は、寄附金残（2024年度期首残高 5,862,293円）を活用し、新たな寄附を行わずして開講した。

講座名	開講期間	場所	受講者数
金融工学	前期	中央大学理工学部	21名
保険数理	後期	中央大学理工学部	41名
アクチュアリー数理Ⅰ	前期	中央大学大学院理工学研究科	2名
アクチュアリー数理Ⅱ (アクチュアリー数理特論)	後期	中央大学大学院理工学研究科	2名

また、2022年度より開始した、早稲田大学大学院会計研究科による寄附講座(提携講座)「生命保険の理論と経営」は、2024年度は3年目を開始した。

講座名	開講期間	場所	受講者数
生命保険の理論と経営	秋学期	早稲田大学早稲田キャンパス	17名

## ② 保険フォーラム

本年度は、次のとおり6回開催した。

なお、他1大学の開催を見込んでいたが、時期調整の関係で未開催となった。

開催大学	テーマ	開催日	参加人数
早稲田大学	学部生・大学院生のためのアクチュアリー研究 セミナー	5/18	29名
早稲田大学	米国アクチュアリー会試験制度とその進化	5/25	45名
東京理科大学	保険ビジネス、アクチュアリーと データサイエンス	7/27	36名
滋賀大学	金融・保険×データサイエンス	10/5	43名
愛媛大学	数理科学の活用と数理科学人材 の活躍について	11/16	34名
慶應義塾大学	広がるアクチュアリーの仕事	2/22	50名

## (3) 奨学制度

生命保険を学ぶ大学生を対象にタイ生命保険協会が実施している奨学制度を助成する「タイ生命保険協会奨学制度」は、奨学生6名に対して一人5,000バーツ、合計30,000バーツ(136千円)を10月に

給費した。

ベトナムの大学において生命保険を学ぶ第三学年を修了した学生を対象とした奨学金制度「ベトナム保険協会奨学制度」について、奨学生 9 名に対して、総額 3,000 米ドル(476 千円)を 12 月に給費した。

#### (4) 広報・出版事業

##### ① 論文・書籍・情報の翻訳

今年度は、「利用者と提供者の視点で学ぶ保険の教科書」(福岡大学商学部教授 植村信保著、中央経済社)を英語に翻訳し出版した。

完成した英訳本は、アジア各国の生命保険協会、生保関係機関、主要保険会社及び国内関係機関へ、無償で配布した。

##### ② ホームページの改修

セミナー案内、保険フォーラム開催案内など最新情報の発信に努めた。

③ 「日本の生命保険の現状」の発信

日本の生命保険マーケットに関連する内容について共有することを目的に、「日本の高齢者向けサービスと高齢者住宅」(シニアライフデザイン代表 堀内裕子氏)をテーマに、英語、日本語、中国語(繁体字・簡体字)の3か国語、4文体で財団ホームページに3回掲載した。

(5) 運営委員会の開催

広い視野に立って財団の事業の在り方を検討するため、2024年度は次の方に運営委員会委員を依頼し、理事長を議長として次のとおり運営委員会を開催した。

① 運営委員の選任

- 森宮 康 委員 (明治大学名誉教授)
- 前田 吉昭 委員 (財団理事 東北大学特任教授(客員)、慶應義塾大学名誉教授)
- 飯島 至雄 委員 (財団評議員 元三井住友海上火災保険(株)執行役員)
- 寺田 重陽 委員 (財団評議員 元財団理事長)
- 首藤 善弘 委員 (前財団理事長)

② 運営委員会の開催

・第1回運営委員会

日時 2024年12月9日 17時00分～

場所 (公財)アジア生命保険振興センター 理事長室

- 議題
- ・2024年度事業報告
  - ・2025年度事業計画

2. 組織運営報告

行事	開催日	主な議事・内容など
寄附講座選考委員会	2024年4月10日	寄附講座助成金交付大学の審議
会計・業務監査会	2024年5月10日	2023年度事業と会計の監査
第36回理事会	2024年5月17日	2023年度事業報告及び財務諸表、 2025年度寄附講座助成大学の選定について、 定時評議員会開催、理事候補者の推薦 について
第19回評議員会	2024年6月5日	2023年度事業報告及び財務諸表、 理事の選任、理事会の決議内容及び報告に ついて
第37回理事会	2024年6月5日	代表理事選定についてみなし決議
第1回運営委員会	2024年12月9日	2024年度事業報告、2025年度事業計画

第 38 回理事会	2025 年 2 月 21 日	2025 年度事業計画及び収支予算 2025 年度資産運用計画 寄附講座選考委員会委員の選任 2024 年度事業報告書について
-----------	-----------------	--

### 3. 財務会計報告

#### (1) 投資信託(流動資産)の一部売却

- ① 銘柄 野村 PIMCO 米国投資適格債券戦略ファンド(為替ヘッジあり)
- ② 売却金額 12,781,339 円
- ③ 売却受渡日 2025 年 3 月 27 日
- ④ 預かり会社 野村証券株式会社
- ⑤ 売却理由 流動資産の普通預金残高が 670 万円(2025 年 2 月末時点)と少なくなったため。

### 4. 管理部門

#### (1) サーバー管理会社の変更

メールサーバーがダウンし復旧せず、また、サービス提供会社からも他社レンタルサーバへの移管を勧められたため、メールサーバー、Web サーバー共に新サービス提供会社への移管を行った。